



## 西本幸男先生の思い出

広島大学名誉教授（医学部）西本幸男先生が、平成六年二月二十六日午前八時、肺癌のため急逝されました。

先生は、九州帝国大学医学部を卒業され、母校でインターンを済ませた後、昭和二十四年以來、広島県立医科大学を振り出しに、三十九年間広島大学に奉職されました。

日頃の先生は大変温厚な方で、私は、学生時代から教えると三十五年間の永きにわたりご指導を受けてきましたが、一度も大きなお声をされる先生をついぞみたことがありませんでした。したがって、二月二十八日に戒善寺で営まれた告別式で祭壇におかれた笑顔の先生のお写真をみて、目頭をあつくしたものです。

西本先生の研究テーマは肺生理学でしたが、この領域は、数学ができればなりません。確かに先生は頭脳明晰で、判断力・決断力・実行力に優れ、いつも私どもの畏敬の的でした。

先生は肺機能検査を武器として、肺結核、慢性閉塞性肺疾患、肺癌あるいはじん肺をはじめ、多くの呼吸器疾患を手掛けてこられました。最も大きなライフワークは毒ガス障害者の医学的管理であり、社会的救済者としても活躍されました。

さらに、後年には在米日系人の健康調査に着手され、多大な成果を挙げられ、現在では広島島のハワイ・ロスアンゼルス・スタディとして世界的にも有名です。

広島大学退官後は、JRR広島鉄道病院長として、組織がえになった旧国鉄広島病院の再編に努力されました。

病に倒られて三か月でお別れをしなければならぬ私どもの悲しみは、あまりに大きすぎます。永い間いろいろお世話になりました。安らかに眠り下さい。

—合掌—

医学部内科学第二講座

山本戸道郎（やまきと・みちお）

